

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ													12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ							7.2							13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15					
22		【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職、贈収賄を禁止する規約を定め、社員に周知徹底をしている。																	16	16.5		
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争入札等社内に関与しない、させない取組を行い健全な競争入札の実施をしている。																		16		
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	大峰の岩ズリという商品が、他社商品と混同しないよう知的財産保護に取り組み始めました。									8.2	9										
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護のため、担当者以外閲覧出来ないよう保管場所、鍵等の管理に取り組んでいる。																		16		
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																				16	
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ					5					8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	骨材製品の安全性を確保するため、骨材試験項目を設け試験結果報告書により品質を確保している。				3.9									12.4							
29		【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	顧客からのクレームに即座に対応し、社内で検討を行い改善し顧客のニーズに応えた満足度のいく品質向上に努めている。																		9		
30	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6							12	13	14	15					
31	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	工事現場より搬出される産業廃棄物のリサイクルとして、信州リサイクル認定制度に認定された製品の活用方法の検討を行っている。信州リサイクル認定証（2020年）		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
32		【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	大型車輛等通行に伴い、地域利用道路を道路清掃車で道路清掃を行い、地域貢献に努めている。				4						9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域の神社、祭典の寄付など毎年行い地域貢献に取り組んでいる。 市消防団協力事業所表示制度				4								11				14	15		17	
34		【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ											8	9		11	12	13					
35		【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営者より経営目標を月例会時に社員に告知することで、社内の周知徹底をはかっている。										8	9								17	
36		【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令順守ガイドラインに沿い、社内研修を開き全員の法令順守への重要性の再確認を行っている。																			16	
37		【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	経営面、環境面、社会面に配慮した経営を行う為担当責任者（役員）を任命している。																			16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーと良好な関係を築くためのアプローチ方法を検討し信頼の構築に努めている。																			16	17
39		【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	危険予知活動（KY）を毎日責任者が主体となり行ない、リスクを洗い出し、全員に周知徹底させている。																			16	
40		【社会的責任】 ・ CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																				16	
41		【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続計画に係る認定を受けている。											9		11			13	13.1		16	
42		【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ												8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
 - ・ 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - ・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）